



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所

東

コード番号 9927

URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者(役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長

(氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,015	3.4	188	17.0	169	19.2	172	18.6	111	18.2
2024年3月期第1四半期	1,948	14.3	161	12.6	142	15.7	145	16.5	94	△11.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 108百万円(18.2%) 2024年3月期第1四半期 91百万円(△12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	12.74	—
2024年3月期第1四半期	10.78	—

(注) EBITDAは、連結営業利益に減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	4,697	3,180	67.4	361.76
2024年3月期	4,943	3,238	65.2	368.23

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,165百万円 2024年3月期 3,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,430	7.4	730	12.4	732	11.6	510	10.9	58.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	9,094,832株	2024年3月期	9,094,832株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	345,813株	2024年3月期	345,813株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	8,749,019株	2024年3月期1Q	8,749,084株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(1) 既存事業及び新規/撤退事業の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、現時点において、リユース事業と新品EC事業（ホビーサーチ事業）の2つの小売事業を展開しております。これらの事業を取り巻く市場環境は概ね堅調に推移しておりますが、リユース市場ではインフレ傾向に伴う買取状況や販売状況に不確定要素が多く、今後の市場環境については予断を許さない状況です。また、ホビー市場においては、人気のキャラクターやコンテンツの新規発生が市場の動向に大きく影響するため、商材のIPの強弱が重要な要素となっています。

当社の成長戦略は、こうした市場環境を考慮し、リユース事業における「安定的な成長と確実な利益創出」を図る戦略と、ホビーサーチ事業における「成長」に重点を置いた戦略を両立させることを目指しています。また、当第1連結四半期累計期間での成約はありませんが、インオーガニックな成長を実現するための手段として、積極的にM&Aも検討しております。

これらの戦略を基盤とし、当社の経営成績に関する具体的な数値を以下に説明いたします。

当第1連結四半期連結累計期間は、ホビーサーチ事業が期初に低迷したものの、徐々に回復の兆しを見せ、またリユース事業においては堅調に推移し、売上高は前年同期から3.4%増の20億15百万円となりました。

利益面におきましては、主にリユース既存事業の売上増、リユース新規/撤退事業の収益性改善により、EBITDAは前年同期から17.0%増の1億88百万円、営業利益は19.2%増の1億69百万円、経常利益は18.6%増の1億72百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18.2%増の1億11百万円となりました。

なお、インオーガニックな成長を実現する手段として、中長期的にM&Aを推進していくことを見据え、当連結会計期間から収益指標として新たにEBITDAを開示することといたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいては、既存店の増収と新店貢献により、外部顧客への売上高は、前年に比べ1億17百万円増収の13億3百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益は、売上増加と新規/撤退事業の収益性改善により前年に比べ26百万円増益の2億2百万円(前年同期比15.0%増)となりました。

②新品EC事業(ホビーサーチ事業)

2024年5月29日に当社コーポレートサイト掲載の「2024年3月期通期決算説明会資料」に記載の通り、新品EC事業においては、2024年1月度の不調の影響で、外部顧客への売上高は前年に比べ51百万円減収の7億12百万円(前年同期比6.7%減)、セグメント利益は粗利率等の改善により前年に比べ6百万円減益の50百万円(前年同期比10.9%減)となりました。ただし、同じく決算説明会資料記載の通り、予約商品等の入荷が順調に進めば、通期では前年の売上高を上回って着地すると予想しております。

上記記述における既存事業と新規/撤退事業の詳細については「3. その他(1)既存事業及び新規/撤退事業の状況」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、32億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億24百万円減少しております。これは、現金及び預金が2億76百万円減少、商品が43百万円増加したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少しております。これは、有形固定資産が11百万円減少したこと等が主な要因であります。

この結果、総資産は46億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円の減少となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、11億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少しております。これは、買掛金が32百万円、未払法人税等が1億18百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減

少しております。これは、長期借入金が24百万円減少したこと等が主な要因であります。

この結果、負債合計は15億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億87百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、31億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少しております。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億11百万円計上されたこと、配当金が1億74百万円あったことにより利益剰余金が63百万円減少したこと等が主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が67.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,876,361	1,599,638
売掛金	252,865	242,425
商品	1,204,335	1,247,443
その他	121,876	141,070
流動資産合計	3,455,439	3,230,578
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	174,011	219,002
土地	382,457	382,457
その他	113,638	57,421
有形固定資産合計	670,107	658,881
無形固定資産		
のれん	217,615	210,361
その他	13,833	13,786
無形固定資産合計	231,448	224,148
投資その他の資産		
投資有価証券	2,348	2,403
敷金及び保証金	414,550	413,936
その他	169,938	167,896
投資その他の資産合計	586,836	584,236
固定資産合計	1,488,393	1,467,266
資産合計	4,943,832	4,697,844
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,595	271,039
短期借入金	82,600	83,200
1年内返済予定の長期借入金	105,820	105,661
未払法人税等	180,343	62,013
賞与引当金	36,597	46,881
契約負債	136,847	133,684
その他	431,423	407,019
流動負債合計	1,277,227	1,109,500
固定負債		
長期借入金	326,126	301,766
退職給付に係る負債	45,846	50,255
資産除去債務	45,920	46,046
その他	10,000	10,000
固定負債合計	427,893	408,067
負債合計	1,705,120	1,517,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,449,448	1,457,956
利益剰余金	1,476,104	1,412,638
自己株式	△101,525	△101,525
株主資本合計	3,324,027	3,269,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815	854
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△7,404	△9,127
その他の包括利益累計額合計	△102,314	△103,999
非支配株主持分	16,999	15,205
純資産合計	3,238,712	3,180,275
負債純資産合計	4,943,832	4,697,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	1,948,600	2,015,364
売上原価	1,057,112	1,072,435
売上総利益	891,488	942,928
販売費及び一般管理費	749,363	773,543
営業利益	142,124	169,385
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	25	32
受取手数料	2,783	2,727
為替差益	1,271	1,379
その他	546	371
営業外収益合計	4,627	4,513
営業外費用		
支払利息	1,249	1,278
その他	54	75
営業外費用合計	1,303	1,354
経常利益	145,448	172,543
特別利益		
保険差益	36	-
受取補償金	-	779
固定資産売却益	2,867	-
特別利益合計	2,903	779
特別損失		
減損損失	-	957
固定資産除却損	1,165	-
特別損失合計	1,165	957
税金等調整前四半期純利益	147,186	172,365
法人税等	52,821	60,850
四半期純利益	94,364	111,514
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,364	111,514

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	94,364	111,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	38
為替換算調整勘定	△3,017	△3,517
その他の包括利益合計	△2,971	△3,479
四半期包括利益	91,393	108,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,932	109,829
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,538	△1,794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,185,478	763,122	1,948,600	—	1,948,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,185,478	763,122	1,948,600	—	1,948,600
セグメント利益	175,914	56,297	232,211	—	232,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,211
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	42
全社費用(注)	△90,129
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	142,124

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,303,242	712,121	2,015,364	—	2,015,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,303,242	712,121	2,015,364	—	2,015,364
セグメント利益	202,286	50,177	252,463	—	252,463

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	252,463
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	86
全社費用(注)	△83,164
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	169,385

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	12,114千円	12,329千円
のれんの償却額	7,253千円	7,253千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 既存事業及び新規/撤退事業の状況

1. 売上・売上総利益・販売費及び一般管理費・営業利益実績

当第1四半期連結累計期間における実績は、次のとおりであります。

(千円)

項目	事業区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同期比
売上高	既存事業	1,897,081	1,903,267	+0.3%
	新規/撤退事業	51,519	112,097	+117.6%
	売上高合計	1,948,600	2,015,364	+3.4%
売上総利益	既存事業	861,885	885,753	+2.8%
	新規/撤退事業	29,602	57,175	+93.1%
	売上総利益合計	891,488	942,928	+5.8%
販売費及び一般管理費	既存事業	703,437	708,930	+0.8%
	新規/撤退事業	45,925	64,612	+40.7%
	販売費及び一般管理費合計	749,363	773,543	+3.2%
営業利益又は営業損失	既存事業	158,448	176,823	+11.6%
	新規/撤退事業	△16,323	△7,437	+54.4%
	営業利益合計	142,124	169,385	+19.2%

- (注) 1 2023年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存事業、その他事業所を新規/撤退事業としております。
 2 全社費用等は売上高等を基準に既存事業と新規/撤退事業に配賦しております。
 3 のれん償却費はのれん発生源の事業区分に応じて計上しております。
 4 グループ会社合計と四半期連結損益計算書のその他差額は既存事業に含めております。